

- ※名簿の横に（実績）と記入する。
- ※申請書に添付した「参加農業者名簿」及び「添付書類」に変更があった場合は、関係書類を添付する。
- ※申請以降、変更がない場合は参加農業者名簿に実績と付けて実績書に添付する。



肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

（実績）

No.	参加農業者		支援予定額（円）				備考	
	氏名 又は 法人・組織名	住所 (又は市町村名)	秋用肥料（令和4年6月～令和4年10月購入分）		春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）			総合計
			当年の肥料費	支援予定額	当年の肥料費	支援予定額		
1	白神 一	能代市〇〇			500.000	72.222	72.222	
2	鳥海 二郎	由利本荘市〇〇			750.000	108.333	108.333	
3	奥羽 三木	大仙市〇〇			2,500.000	361.111	361.111	
4	(農)あきたこまち	大仙市〇〇			3,000.000	433.333	433.333	
5	(株)かまくらファーム	横手市〇〇			3,500.000	505.555	505.555	
6	〇〇 〇〇	秋田市〇〇	秋肥の申請が無い場合は、「秋用肥料」の欄は空欄にしてください。		4,000.000	577.777	577.777	
集計	-				14,250.000	2,058.331	2,058.331	
参加農業者数	参加農業者数の欄を追加					6名		

- (注)
- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
 - 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。

$$\text{支援予定額} = \{ (\text{当年の肥料費}) - (\text{当年の肥料費}) \div (\text{高騰率}) \div 0.9 \} \times 0.7$$

ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、都道府県及び市町村から支援金（以下「地方自治体支援金」という。）が交付されている場合にあつては、この交付額から以下の算定式により算出される調整額を控除したものを支援予定額とする。
 なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。

$$(\text{調整額}) = (\text{地方自治体支援金}) - \{ (\text{当年の肥料費} - \text{前年の肥料費}) \times 0.3 \}$$
 - 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
 - 適宜、行を追加すること。
 - 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。
 - 参考様式第5-1号別添において「年間」欄に「○」を付けた場合には、「秋用肥料（令和4年6月～10月購入分）」と「春用肥料（令和4年11月～令和5年5月購入分）」の欄を結合して「年間肥料（令和4年6月～令和5年5月購入分）」に変更し、「支援額」の欄も結合すること。